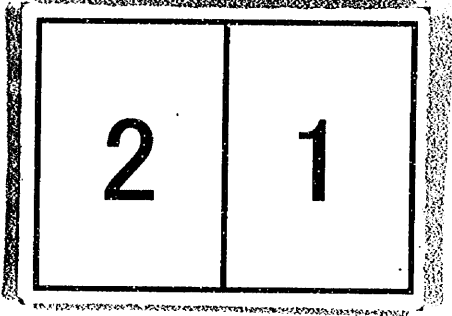


分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	各機体の注文先
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

名	稱	註文先	記
九五式艦上戦闘機々々			
九〇式艦上練習戦闘機々々			
九六式艦上攻撃機々々		中島飛行機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
九七式一號艦上攻撃機々々			
九五式水上偵察機々々			
中島双發輸送機々々			
九六式艦上戦闘機々々		三菱重工株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
九七式二號艦上攻撃機々々			
九六式陸上攻撃機々々			
九〇式二號陸上機上作業練習機々々			
九四式艦上爆撃機々々			
九六式艦上爆撃機々々			
九六式水上偵察機々々		愛知時計電機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
九八式水上偵察機々々			
十一試艦上爆撃機々々			
一五式飛行艇々々			
空廠中艇々々			
九四式水上偵察機々々		川西航空機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
十一試水上中間練習機々々			
九一式飛行艇々々			
九七式飛行艇々々			
九六式四號艦上戦闘機々々			
九四式水上偵察機々々			
九六式水上小型偵察機々々		株式会社渡邊鐵工所	特殊ノ技術ト経験ト有ス
九三式水上中間練習機々々			
九三式陸上中間練習機々々			
九〇式二號陸上機上作業練習機々々			
三式二號陸上初歩練習機々々		日本飛行機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
九〇式水上初歩練習機々々			
九四式水上偵察機々々			
三式二號陸上初歩練習機々々		東京瓦斯電氣工業株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
D C 3 輸送機々々		昭和飛行機工業株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
壽發動機			
光發動機		中島飛行機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
榮發動機			
金星發動機			
瑞星發動機		三菱重工株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
震天發動機			
明星發動機			
ローレン四百五十馬力發動機			
九一式五百馬力發動機			
九一式六百馬力發動機		愛知時計電機株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
壽發動機			
神風發動機		東京瓦斯電氣工業株式会社	特殊ノ技術ト経験ト有ス
天風發動機			
冷却器		愛知時計電機株式会社	製造權ヲ有ス
冷却器		株式会社川崎造船所	製造權ヲ有ス
九〇式機上作業練習機			
九六式艦上攻撃機			
九六式水上偵察機			
九三式中間練習機			
九四式二號水上偵察機		愛知時計電機株式会社	材料準備ノ都合上特殊ノ技術ヲ有スルニ社ニ指定スルヲ有利ト

(昭和十四年五月六日公報(部内限)別表)

九六式艦上戦闘機々體	三菱重工業株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九七式二號艦上攻撃機々體		
九六式陸上攻撃機々體		
九〇式二號陸上機上作業練習機々體		
九四式艦上爆撃機々體		
九六式水上偵察機々體	愛知時計電機株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九八式水上偵察機々體		
十一試艦上爆撃機々體		
一五式飛行艇々體		
空 廠 中 艇 々 體		
九四式水上偵察機々體	川西航空機株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九六式四號艦上戦闘機々體		
九四式水上偵察機々體		
九六式水上小型偵察機々體	株式会社渡邊鐵工所	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九三式水上中間練習機々體		
九三式陸上中間練習機々體		
九〇式二號陸上機上作業練習機々體		
三式二號陸上初歩練習機々體	日本飛行機株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九〇式水上初歩練習機々體		
九四式水上偵察機々體	東京瓦斯電氣工業株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
三式二號陸上初歩練習機々體	昭和飛行機工業株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
D C 3 輸送機々體		
壽 發 動 機 機	中島飛行機株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
光 發 動 機 機		
榮 發 動 機 機		
金星 發 動 機 機	三菱重工業株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
瑞 星 發 動 機 機		
震 天 發 動 機 機		
明星 發 動 機 機		
ローレン四百五十馬力發動機		
九一式五百馬力發動機	愛知時計電機株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
九一式六百馬力發動機		
壽 發 動 機 機		
神 風 發 動 機 機	東京瓦斯電氣工業株式会社	特殊ノ技術ト經驗ト有ス
天 風 發 動 機 機	愛知時計電機株式会社	製造權ヲ有ス
冷 却 器 N K F 型	株式會社川崎造船所	製造權ヲ有ス
冷 却 器 「アンドレー」型		
九〇式機上作業練習機	愛知時計電機株式会社	材料準備ノ都合上特殊ノ技術ヲ有スルニ社ニ指定スルヲ有利ト認ムルニ付
九六式艦上攻撃機		
九三式中間練習機		
九四式二號水上偵察機		
三式二號陸上練習機		
九〇式水上練習機	川西航空機株式会社	
九四式水上偵察機		
九六式水上小型偵察機		
「プロペラ」金屬製	住友金屬工業株式会社	製造權ヲ有ス

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セス

○五月六日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威、鈴谷、五十鈴、陸奥、巖島、多摩、利根▲、八雲、駒橋▲、木曾、

沖島、山城、長鯨、愛宕

島風▲、灘風▲、夏雲、峯雲、朝雲▲、

山雲▲、呂五八

伊六▲、呂五八

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸、室戸

(飛龍)、(高崎)▲

【長浦】

沙風、帆風、沼風、電、雷、響、狭霧、

伊一三、伊一四

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

尻矢

【石川島】

野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲

(霞)▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(掃一一)▲

【館山】

葵▲、秋風、羽風、太刀風、夕風

【大湊】

吳竹▲、菊▲

【函館】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、

日向▲、鳳翔、最上、加古

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、矢風、霞

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、

伊六七、伊七〇▲、伊二二三▲

雁▲

石廊▲

(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲

卯月▲、如月▲

(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲、伊五七、伊五六▲、伊五八▲

【相生】

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

早鞆▲

(初應)▲

【玉】

呂六二▲

【因ノ島】

旗風▲、春風▲、皐月▲

【江田内】

平戸▲

【宿毛】

長門、扶桑、霧島、金剛、阿武隈、

由良、鬼怒、川内、大鯨、島海、

摩耶、熊野、三隈、那珂、劍崎、

蒼龍、龍驤

村雨、夕立、春雨、五月雨、若葉、子日、

初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、

臘、略、潮、天霧、朝霧、夕霧、

初雪、白雪、吹雪、東雲、叢雲、薄雲、

沖風、峯風

海軍公報(部内限)第三千二百號 昭和十四年五月六日

【佐伯舞鶴】

千代田 攝津、隠戸、間宮
吾妻、迅鯨
伊五二、磯波、白雲

【佐世保】

(陽炎) (親潮)
那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、足柄、龍田、千歲、榛名、磐手、八重山、梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、蓬、菱、葦、柿、楡、水無月、文月、長月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、彌生、夕月、三日月、菊月、睦月、望月
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六三、呂六八、呂六六、呂六七、呂六五、伊六九、伊六五、眞鶴、千鳥、友鶴、初雁、掃八、掃九、敷島、鶴見、佐多、知床、野島

【長崎】

(明石) (雪風) (伊一八)
羽黒

【鎮海】

浦波、綾波、呂六四

【元山】

掃一〇

【ホノルル 襟裳 作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、口端、球磨、口妙高、名取、長良、曙、勝力、夕張、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、伊六三、隼、鴨、鵠、鴻、鳩、雉、鷺、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七、朝日、大泊

【航海中】

赤城、追風、疾風 (五日有明灣發 | 宿毛へ)
大井、伊六一、伊六四 (五日有明灣發 | 宿毛へ)
白鷹、伊二二 (五日大阪灣發 | 吳へ)
伊勢 (五日宿毛發 | 吳へ)
伊一、伊二、伊三 (五日有明灣發 | 白杵へ)

(限 内 部)

0602

海軍公報

(部内限) 第三千二百一號

昭和十四年五月八日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一七五四號ノ三

提 奏

昭和十四年度歳入歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十四年四月二十八日

海 軍 大 臣

一 般 會 計

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(歳入臨時部)					
(雑収入)	臨時受託 造修收入	臨時受託 造修收入			スヒ
(歳出經常部)					
(軍事費)(俸給)					
	×賞與				ハノ

艦艇製造費	艦艇製造費	軍需品整備費	軍需品整備費	退職俸給	兵器充實費
				ヨル	ナト

海軍大臣官房 第六〇一號ノ五
 昭和十四年五月八日
 海軍大臣

○ 辭 令

吉田 哲夫
 井上 寛

海軍公報(部内限) 第三千二百一號 昭和十四年五月八日

五〇三

(各通)

上瀧 具真
 石谷 昇
 吉村 勝三郎
 飯笹 末喜
 泉 三郎
 岡本 敦
 栗田 勝一
 久々宮 一
 森 武治
 中村 正明
 平川 浩
 箕輪 信
 平井 啓輔
 梅林 正明
 乾 眞一郎
 岩本 直樹
 大沼 嘉郎
 藤岡 良介
 平野 治雄
 土屋 秀介
 船木 六三郎

海軍航空豫備學生(整備科)ヲ命ズ(海軍省)

福島 保
 山田 晋
 菊地 重光
 佐山 博通
 長谷川 武
 栗波 榮之助
 石原 治男
 山下 清助
 多木 義男
 加藤 正明
 青木 宗夫
 松本 壽一
 藤井 英三郎
 篠崎 忠男
 村井 正雄
 田中 武彦
 松井 秀生

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○五月八日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、
巖島▲多摩▲利根▲八雲▲駒橋▲木曾、
沖島▲山城▲長鯨▲愛宕

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲▲朝雲▲
山雲▲夕曉

伊六▲呂五八

富士▲膠州▲洲崎▲鳴戸▲室戸

(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】

汐風▲帆風▲沼風▲雷電▲雷響▲狹霧、
伊五四、呂五五、呂五六、呂五七、
伊一二三、伊一二四

【石川島】

野風▲
尻矢

【浦賀】

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲
北上▲

【館山】

澤風▲
葵▲秋風▲羽風▲太刀風▲夕風

【大湊】

吳竹▲秋菊▲
矢矧▲淺間▲淀▲比叡▲古鷹▲神通▲
日向▲鳳翔▲最上▲加古▲大井▲白鷹▲
伊勢

【函館】

伊勢

夕顔▲若竹▲早苗▲薄▲藤▲葛▲萩、
呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲
呂二八▲呂五九▲伊五一▲伊六六▲
伊六七▲伊七〇▲伊一二一▲
伊一二二▲伊六二▲伊六一▲伊六四

【大阪】

(伊一五)▲(伊一六)▲
天龍▲
卯月▲如月▲
(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

神戶▲伊六八▲伊五七▲伊五六▲伊五八▲
(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】

早鞆▲
(初應)▲

【玉】

呂六二▲
因ノ島▲春風▲旗風▲皐月▲

【江田内】

平戸▲
宿毛▲長門▲扶桑▲霧島▲金剛▲阿武隈、
由良▲鬼怒▲川内▲大鯨▲赤城、
千代田▲島海▲摩耶▲熊野▲三隈、
那珂▲劍崎▲蒼龍▲龍驤

【村雨】

夕立▲春雨▲五月雨▲若葉▲子日、
初霜▲初春▲江風▲涼風▲山風▲海風、
追風▲疾風▲朧▲曙▲潮▲天霧▲朝霧、

海軍公報(部内限)第三千二百一號 昭和十四年五月八日

五〇五

夕霧、口初雪、白雪、吹雪、口東雲、叢雲、薄雲、峯風

口伊五、伊四、口伊五五、伊五三、伊五四、口伊五九、伊六〇、伊七、口伊七五、伊七四、口伊七三、伊七一、伊七二、口呂三四、呂三三、伊八

隱戸、間宮

【白杵】口伊一、伊二、伊三

【舞鶴】吾妻、迅鯨、敷波、磯波、白雲

伊五二

【佐世保】(陽炎)(親潮)

那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、足柄、龍田、千歳、榛名、磐手、口八重山、梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、菱、口葦、柿、楡、口水無月、文月、長月、口大湖、朝潮、滿潮、荒潮、口彌生、夕月、口三月、菊月、睦月、望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、口呂六三、呂六八、口呂六六、呂六七、呂六五、口伊六九、口伊六五、口眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃八、掃九、敷島、鶴見、佐多、知床、野島

【長崎】

(羽黒) 筑摩

(明石)(雪風)(伊一八)

【鎮海】呂六四

【元山】口掃一〇

【作業地】口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、口瑞穂、球磨、口妙高、名取、口長良、口嵯峨、勝力、夕張、栗、梅、蓮、口夕風、朝風、口松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨

伊六三、口隼、鴨、鵠、鳩、雉、鷺

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、口掃一七、掃一八、掃七

朝日、大泊

【航海中】襟裳(六日「ホノルル」發一吳へ)

浦波、綾波(七日鎮海發一佐世保へ)

沖風(七日有明灣發一横須賀へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百二號

昭和十四年五月九日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二四三一號

要

普通科衣糧術練習生教程ノミヲ修業ノ現役主計兵曹長
 及主計兵曹中既往ニ於テ海軍經理學校附トシテ糧食關
 係ノ特殊教育ヲ受ケタル者(私立養正學校ニ派遣修學シ
 其ノ教程ヲ卒業シタル者)ハ此
 ノ際海軍經理學校規則第三十四條第三號ノ規定ニ依ル
 高等科衣糧術練習生教程ヲ卒業シタル者ト看做ス但シ
 主計兵曹ニ高等科衣糧術特技章ヲ付與スルモ之ガ爲新
 ニ服役ノ義務ハ生ゼザルモノトス

昭和十四年五月九日

海軍大臣

○雜 款

○郵便物發送先
 第一航空戰隊司令部、軍艦赤城、第二十九驅逐隊宛
 五月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛
 其ノ後ハ 所屬軍港

軍艦伊勢宛

自 今

驅逐艦峯風宛

自 今

吳

佐世保

海軍公報(部内限) 第三千二百二號 昭和十四年五月九日

五〇七

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月九日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥▲
嚴島▲多摩▲利根▲八雲▲駒橋▲木曾▲

▷沖島▲山城▲長鯨▲愛宕▲

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲▲朝雲▲

山雲▲区曉▲

伊六▲区呂五八▲

富士▲膠州▲洲埼▲鳴戸▲

(飛龍)▲(高崎)▲

沙風▲帆風▲沼風▲雷電▲雷響▲狹霧▲

漣▲沖風▲

呂五四▲呂五五▲呂五六▲呂五七▲

伊一三▲伊一二四▲

尻矢▲

野風▲

(掃一二)▲

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

澤風▲

館山▲

葵▲秋風▲羽風▲太刀風▲夕風▲

函館▲

吳竹▲区菊▲

矢矧▲淺間▲淀▲比叡▲古鷹▲神通▲

日向▲鳳翔▲加古▲白鷹▲伊勢▲

夕顔▲若竹▲早苗▲薄▲藤▲葛▲萩▲

区芙蓉▲区刈薙▲区朝顔▲区矢風▲

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂五九▲伊五一▲伊六六▲

伊六七▲伊七〇▲伊一二一▲

伊一二二▲伊六二▲伊六一▲伊六四▲

伊一▲伊二▲伊三▲

雁▲

石廊▲

(伊一五)▲(伊一六)▲

天龍▲

卯月▲如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

伊六八▲伊五七▲伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

神風▲波風▲

早鞆▲

(初應)▲

呂六二▲

因ノ島▲春風▲旗風▲皐月▲

江田内▲平戸▲

宿毛▲長門▲扶桑▲霧島▲金剛▲阿武隈▲

由良▲鬼怒▲川内▲大鯨▲赤城▲

千代田▲島海▲摩耶▲熊野▲三隈▲

那珂▲劍崎▲若龍▲龍驤▲

村雨▲夕立▲春雨▲五月雨▲若葉▲子日▲

初霜▲初春▲江風▲涼風▲山風▲海風▲

追風▲疾風▲隴▲曙▲潮▲天霧▲朝霧▲

海軍公報(部内限)第三千二百二號

昭和十四年五月九日

五〇九

夕霧、戸初雪、白雪、吹雪、戸東雲、叢雲、薄雲、峯風

戸伊五、戸伊四、戸伊五五、戸伊五三、戸伊五四、戸伊五九、戸伊六〇、戸伊七、戸伊七五、戸伊七四、戸伊七三、戸伊七一、戸伊七二、戸伊三四、戸伊三三、戸伊八

隱戸、間宮

【細鳥】

攝津

吾妻、迅鯨

敷波、磯波、白雲

伊五二

【佐世保】

(陽炎) (親潮)

那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、呂足柄、龍田、千歲、榛名、磐手、八重山、梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、蓬、菱、草、梯、楡、水無月、文月、長月、大湖、朝潮、滿潮、荒潮、彌生、夕月、三日月、菊月、睦月、望月、浦波、綾波、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、戸呂六三、戸呂六八、戸呂六六、戸呂六七、戸呂六五、戸呂六九、戸伊六五

戸眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃八、掃九

敷島、鶴見、佐多、知床、野島

(明石) (雪風) (伊一八)

【長崎】

羽黒

【作業地】

戸出雲、安宅、島羽、勢多、堅田、比良

【航海中】

保津、熱海、二見、戸瑞穂、球磨、戸妙高、名取、戸長良、戸嵯峨、勝力、夕張、栗、梅、蓮、戸夕風、朝風、戸松風、朝風、戸白露、有明、夕暮、時雨、戸六三、戸隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉、戸鷺、戸掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、戸掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、戸掃一七、掃一八、掃七、朝日、大泊

襟裳 (六日) (ホルル) (發一吳)

最上、掖 (八日) (吳發一廣島灣)

大井 (八日) (吳發一福岡灣)

戸掃一〇 (八日) (元山發一佐世保)

呂六四 (八日) (鎮海發一元山)

室戸 (八日) (横須賀發一吳)

海軍公報

(部内限) 第三千二百三號

昭和十四年五月十日(水)

海軍大臣官房

○通牒

軍務一機密第一九七號

昭和十四年五月九日

海軍省軍務局長

各鎮守府 各要港部 參謀長
各艦隊 練習艦隊司令官 殿

艦船搭載物件整備ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ昭和十一年官房機密第二五九號艦船搭載兵備品機關附屬物等ノ整備ニ關スル調査ノ件訓令セラレ關係各部ニ於テモ本趣旨ニ基キ絶エズ不用物件整理ニ努力中ノコトト存候處本年初頭第二十二、第三十驅逐隊ガ自發的ニ夫々六噸、九噸餘ノ不用物件ヲ陸揚處分セルハ極メテ適切ナル措置ト被存候右兩隊ノ實例ヲ見ルモ搭載物件ハ一度整理スルモ時ヲ經ルニ從ヒ不知不識ノ間ニ整理ヲ必要トスルモノ相當量ニ達シ復原性能竝ニ船體強度保持上寒心スベキ結果ヲ

招來スル俱アルニ付貴麾下艦船ニ對シテモ時機ヲ得次第不用物件ノ整理ヲ實施セシメラルル様可然取計相成度

○辭令

海軍中佐 柴 勝 男

報道部第一課勤務ヲ命ス

海軍少佐 馬場 金治

報道部第三課勤務ヲ命ス(以上ハ大本營海軍部)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第十九驅逐隊司令ハ五月九日司令驅逐艦ヲ浦波ヨリ綾波ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第十二潜水隊司令ハ五月八日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ヨリ伊號第七十潜水艦ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第三千二百三號

昭和十四年五月十日

五一

海軍公報(部内限) 第三千二百三號 昭和十四年五月十日

五二二

○第十九驅逐隊行動豫定

地名	着	發
鎮海	五月十八日	五月十七日
佐世保	五月十八日	五月十七日

○特務艦室戸行動豫定變更

地名	着	發
吳世保	五月十八日	五月十七日
舞鶴	五月二十二日	五月二十四日
吳世保	五月二十六日	五月三十日
佐世保	五月三十一日	六月二日
横須賀	六月六日	六月八日
吳	六月十一日	六月八日

○郵便物發送先變更

特務艦室戸宛	到達見込ノモノハ	發送先
五月十六日迄	同	吳世保
五月十九日迄	同	佐世保
五月二十三日迄	同	舞鶴
五月二十九日迄	同	吳世保
六月一日迄	同	佐世保
六月七日迄	同	横須賀
其ノ後ハ		吳

○ 艦船所在

▲印(ハ、ホ、ヘ)
指定ヲ要セズ

○五月十日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、
嚴島、多摩、利根▲▽八雲、駒橋▲木曾、
▽沖島、山城、長鯨、愛宕

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲▲

山雲▲▽曉▲

伊六▲、呂五八

富士▲、膠州、洲埼▲鳴戸、尻矢

(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】 汐風、帆風、▽沼風、▽電、雷、響、狭霧、
漣、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、
伊一二三、伊一二四

野風▲

【石川島】 (掃一二)▲

北上▲

【浦賀】 (霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

澤風▲

【館山】 葵▲▽秋風、羽風、太刀風、夕風

【大湊】 吳竹▲▽菊▲

【函館】 矢矧、淺間、淀、比叡▲古鷹▲神通▲

【吳】 日向▲鳳翔、加古、▽白鷹、伊勢

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
芙蓉▲刈萱▲朝顔▲矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲ 呂二七▲
呂二八▲ 呂五九、伊五一、伊六六▲
伊六七▲ 伊七七○▲ 伊八一、
伊一二二▲ 伊六二、伊六一、伊六四、
伊一、伊二、伊三

雁

石廊 (伊一五)▲(伊一六)▲

天龍▲

【大阪】 卯月▲、如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】 伊六八▲ 伊五七、伊五六▲ 伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】 神風▲、波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、皐月▲

【江田内】 平戸▲

【新港沖】 最上

【宿毛】 長門、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、
由良、鬼怒、▽川内、▽大鯨、▽赤城、
千代田、▽島海、摩耶、▽那珂、▽劍崎、
▽蒼龍、龍驤

▽村雨、夕立、春雨、五月雨、▽若葉、子日、
初霜、初春、▽江風、涼風、山風、海風、
追風、疾風、▽朧、曙、湖、▽天霧、朝霧

海軍公報(部内限) 第三千二百三號 昭和十四年五月十日

五二三

夕霧、口初雪、白雪、吹雪、口東雲、叢雲、薄雲、峯風

口伊五、伊四、口伊五五、伊五三、伊五四、口伊五九、伊六〇、伊七、口伊七五、伊七四、口伊七三、伊七一、伊七二、口呂三四、呂三三、伊八

【舞鶴】

隱戸、間宮、攝津
吾妻、迅鯨
敷波、磯波、白雲
伊五二

【佐世保】

(陽炎) (親潮)
那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歲、榛名、磐手、口八重山、梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、口葦、柿、楡、口水無月、文月、長月、口大湖、滿潮、朝潮、荒潮、口彌生、夕月、口三日月、菊月、陸月、望月、口綾波、浦波、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、口呂六三、呂六八、口呂六六、呂六五、呂六七、伊六九、口伊六五、口真鶴、千鳥、友鶴、初雁、口掃一〇、掃八、掃九、敷島、鶴見、佐多、野島、(明石)、(雪風)、(伊一八)

【小濱】

足柄

【長崎】

羽黒

【福岡灣】

大井

【作業地】

口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、口瑞穂、球磨、口妙高、名取、口長良、口嗟峨、勝力、夕張、栗、梅、選、口夕風、朝風、口松風、朝風、口白露、有明、夕暮、時雨、伊六三、口隼、鴨、鶴、鳩、鳩、雉、口鷺、口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、口掃一七、掃一八、掃七、朝日、大泊、知床

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)
呂六四 (八日鎮海發一灣外へ)
室戸 (八日横須賀發一吳へ)
磯 (九日江田内發一紀伊水道へ)
熊野、三隈 (十日宿毛發一吳へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百四號

海軍大臣官房

昭和十四年五月十一日(木)

○令 達

官房機密第一〇號ノ三〇

昭和十四年五月十一日

海軍大臣

各鎮守府長官
舞鶴要港部司令官宛

兵器簿ノ件通達

艦船、部隊、官衙、學校兵器簿航海長主管之部中左記ノ通改正ス

記

備考 既ニ記載シアルモノヲ除ク

○通 牒

航本機密兵飛第三〇七號

昭和十四年五月十日

海軍航空本部長

横須賀、吳、佐世保海軍軍需部長殿

兵器組替整理ノ件通牒(飛行長主管)

在庫供用竝ニ貸與中ノ左記上段兵器ヲ下段ノ通組替整理スベシ

記

部 類	兵器名稱	稱 數		指 定	記 事
		常備數	常用補用		
氣象兵器	乾電池 二平角 二型	二	二	追加	自記風力計内諒 ニ品名數某追加
高層氣象兵器之部		二	二	同	經九二式海上測風 機改一内諒 ニ品名數某追加
同		二	二	同	陸上測風機 追加ニ品名數某追加
上 段 品 名	滑走車 吳式二號射出機三型、三型 改一、改二、四型、五型 九四式水上偵察機用	下 段 品 名	滑走車 吳式二號射出機各型 九四式水上偵察機用	記 事	
滑走車	吳式二號射出機三型、三型 改一、改二、四型、五型 九五式水上偵察機用	滑走車	吳式二號射出機各型 九五式水上偵察機用		

海軍公報(部内限) 第三千二百四號

昭和十四年五月十一日

五一五

○ 辭令

金森 三郎

北支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解キ第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千四拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(海軍省)

○ 雜款

○ 將旗移揚

第四根據地隊司令官ハ五月九日將旗ヲ三亞司令部ヨリ鷺ニ、同日鷺ヨリ海口司令部ニ移揚セリ

○ 司令潜水艦變更

第六潜水隊司令ハ五月一日司令潜水艦ヲ呂號第五十八潜水艦ヨリ呂號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

第九號驅潛艇宛
自今
横須賀防備隊内

○ 事務開始

上海航路部ヲ上海舟山路四五五號(元上海海軍特務部

舟山路別館)ニ設置シ五月一日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 事務所撤去

第九號驅潛艇艦裝員事務所ヲ五月九日撤去セリ

○ 殘務整理

第九號驅潛艇艦裝ニ係ル殘務整理ハ自今第九號驅潛艇ニ於テ行フ

○ 正誤

本月四日附號外二頁上段芝田照樹ノ下(九五〇)ハ(九五二)トシ以下順次繰下グ

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○五月十一日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷、五十鈴、陸奥、
嚴島、多摩、利根▲▷八雲、駒橋▲木曾、
▷沖島、山城、長鯨、愛宕

島風▲灘風▲▷夏雲、峯雲、朝雲▲

山雲▲▷曉▲

伊六▲、呂五八

富士▲膠州、洲崎▲鳴戸、尻矢

(飛龍)、(高崎)▲

【長浦】

沙風、帆風、▷沼風、▷電、雷、響、狹霧、
漣、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五七、
伊一二三、伊一二四

野風▲

(掃一二)▲

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

澤風▲

葵▲▷秋風、羽風、太刀風、夕風

吳竹▲▷菊▲

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田、
▷熊野、三隈

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▷熊野、三隈

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、
伊六七▲、▷伊七〇▲、▷伊一二一、
伊一二二▲、▷伊六二、伊六一、伊六四、
伊一、伊二、伊三

雁

室戸

(伊一五)▲(伊一六)▲

天龍

卯月▲、如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

神戶▷伊六八▲、▷伊五七、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

相生

神風▲、波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

因ノ島▷春風▲、旗風▲、阜月▲

江田内▷平戸▲

伊豫灘▷白鷹▲

矢風

石廊

宿毛▷長門、扶桑、▷霧島、金剛、▷阿武隈、
由良、鬼怒、▷川内、▷大鯨、▷赤城、
▷鳥海、摩耶、▷那珂、▷劍崎、▷蒼龍、龍驤、
▷村雨、夕立、春雨、五月雨、▷若葉、子日、

海軍公報(部内限)第三千二百四號 昭和十四年五月十一日

五一七

【舞鶴】

初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、
追風、隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、
初雪、白雪、吹雪、東雲、叢雲、薄雲、
伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、
伊五九、伊六〇、伊七、伊七五、伊七四、
伊七三、伊七一、伊七二、呂三三、
呂三三、伊八

隱戸、間宮
吾妻、迅鯨、
敷波、磯波、白雲

伊五二

【佐世保】

(陽炎) (親潮)
那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登、
龍田、千歳、榛名、磐手、八重山、
梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、蓬、菱、
葦、柿、榆、水無月、文月、長月、
大潮、滿潮、朝潮、荒潮、彌生、夕月、
三日月、菊月、睦月、望月、綾波、浦波、
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六三、呂六八、呂六六、
呂六五、呂六七、伊六九、伊六五、
真鶴、千鳥、友鶴、初雁、
掃一〇、掃八、掃九

敷島、鶴見、佐多
明石、雪風、伊一八

【長崎】

【小濱】

筑摩、
足柄

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、
名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、
栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、
白露、有明、夕暮、時雨、
伊六三、
伊三、鴨、鵠、鴻、鳩、雉、鷺、
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、
掃一七、掃一八、掃七、
朝日、大泊、知床、野島

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳)
呂六四 (八日鎮海發一灣外)
發 (十日江田内發一廣島灣)
疾風、峯風 (十日宿毛發一佐世保)
攝津 (十日宿毛發一吳)
大井 (十一日境發一舞鶴)

海軍公報

(部内限) 第三千二百五號

昭和十四年五月十二日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二四一七號ノ二
臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十四年五月十一日

海軍大臣

款	項	目	節	會計科目 電信略號
臨時 軍事費	海軍臨時 軍事費	演習費		
		演習費		ウ三
		大演習費		ウ五

○通 牒

官房機密第二八七七號
昭和十四年五月十二日

海軍省副官

各鎮守府、舞鶴要港部參謀長殿

兵器簿ニ關スル件通知

今次事變中特設艦船部隊ノ兵器簿ニ關シテハ左記ニ對
スルモノ以外ハ特ニ必要アリト認ムルモノノ外制定セ
ラレザルニ付了知相成度

記

特設砲艦、特設掃海艇

艦本機密第九五三一號

昭和十四年五月十一日

海軍艦政本部長

横須賀 海軍工廠長
吳 海軍軍需部長
佐世保 殿

九三式中聴音機潜水艦用改造ニ

關スル件通牒

首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、工事要領

海軍公報(部内限) 第三千二百五號 昭和十四年五月十二日

五一九

別表其ノ一記載ノ各潜水艦現裝備並ニ在庫ノ九三式

水中聽音機潜水艦用(型名ナキモノ)ニシテ

(一) 假稱當時ノ舊型增幅器ヲ使用シ翼板及纜條電源

トシテ共ニ二次電池ヲ使用セルモノ(以下第一種ト稱ス)

(二) 增幅器翼板ニハ艦内電源ヲ、纜條ニハ二次電池ヲ使用セルモノ(以下第二種ト稱ス)

ノ兩者ニ付增幅器並ニ電源用濾波器(第二種ノミ)ヲ別圖要領ニ依リ改造シ增幅度ヲ增幅器一型程度ニ増加セシメ且電源ニハ艦内電燈電源ノミヲ使用スルモノトシ必要ナル裝備換ヲ行フモノトス

二、所要並ニ撤去兵器

別表其ノ二ノ通

三、時期

時期ヲ得次第成ルベク速ニ完成ヲ要ス

四、費目

軍事費、造船造兵及修理費、造兵費、修理(線)別途配付豫算内支辨トス

(別表其ノ一、一葉添別表其ノ二及別圖省略)

艦本機密兵線第二一〇號

昭和十四年五月十二日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

航空無線電信機用短波測波器調査ノ件

照會(通信長主管)

首題兵器ハ各種航空無線電信機ニ共通使用可能ナル如ク改造ヲ要スルニ付現供用及貸與中ノ短波測波器數量ヲ左記ニ依リ五月三十一日迄ニ通報相成度

記

品名	數量		記事
	良品	要修理品修理中計	
短波測波器 九六式空三號無線電信機用			
九四式空二號無線電信機 特型改一用			
九四式空二號無線電信機 特型用			
九四式空二號無線電信機 二型用			
九三式空二號無線電信機 一型用			

(註) 貸與中ノモノハ括弧ニテ區別記入ノコト

○ 辭 令

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(陸海軍省) 海軍少佐 高瀬 五郎

製鋼業務ヲ囑託シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル 佐藤 正

製鋼業務ヲ囑託ス(以上九五〇) 海軍艦政本部 関口 八十吉

○ 雜 款

○ 將旗移揚
第一聯合航空隊司令官ハ五月十日將旗ヲ鹿屋航空隊ヨリ木更津航空隊ニ移揚セリ

○ 正誤 **齊**
本年三月十三日公報(部内限) 號外官房第一三九六號 恩給年敍勳年加算ニ關スル件通牒中伊號第七十潜水艦ノ次ニ

伊號第七十四潜水艦 一三、八、一五 一三、二二、一七

ヲ脱ス

海軍公報(部内限) 第三千二百五號 昭和十四年五月十三日

五二一

0620

(艦本機密九五三一號)別表其ノ一

昭和十四年五月十二日海軍公報(部内限)

所轄	鎮							横鎮		艦名	增幅器	電源用濾波器	記	事	
	佐	吳	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ						
佐鎮	佐	吳	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
需	需	需	一二二	七〇	六九	六八	六四	六一	六	三					
一	四	一	二	二	二	一	二	二	二	二					
一	四	二	二	二	一	二	一	一	一	一					
第二種 (イ六〇ヨリ撤去ノモノ)	第二種 (イ五四、六六、六七、日三三ヨリ撤去ノモノ)	第一種	全右	全右	全右	全右	第二種	全右	第一種 第二種各一						

○ 艦船所在

指▲印ハハホホフ
定ワ要セズ

○五月十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥▲
殿島▲多摩▲八雲▲駒橋▲木曾▲沖島▲
山城▲長鯨▲愛宕▲利根▲

島風▲灘風▲夏雲▲峯雲▲朝雲▲

山雲▲呂五八

伊六▲呂五八

富士▲膠州▲洲崎▲鳴戸▲尻矢

(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】

沙風▲帆風▲沼風▲電雷▲響▲狹霧▲
漣▲沖風▲

呂五四▲呂五五▲呂五六▲呂五七▲

伊二三▲伊二四

【石川島】

野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

澤風▲

【館山】

葵▲秋風▲羽風▲太刀風▲夕風

【大湊】

吳竹▲菊▲

【函館】

矢矧▲淺間▲淀▲比叡▲古鷹▲神通▲

日向▲鳳翔▲加古▲最上▲伊勢▲千代田▲

熊野▲三隈▲白鷹▲

夕顔▲若竹▲早苗▲薄▲藤▲葛▲萩▲

呂美蓉▲刈萱▲朝顔▲矢風

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂五九▲伊五一▲伊六六▲

伊六七▲伊七〇▲伊一二一▲

伊一二二▲伊六二▲伊六一▲伊六四▲

伊一▲伊二▲伊三

雁▲室戸▲攝津

(伊一五)▲(伊一六)▲

天龍▲

卯月▲如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

伊六八▲伊五七▲伊五六▲伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

神風▲波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

因ノ島▲春風▲旗風▲皐月▲

江田内▲平戸▲

舞鶴▲

吾妻▲迅鯨▲大井

敷波▲磯波▲白雲

伊五二▲

(陽炎)▲(親潮)▲

那智▲常磐▲青葉▲衣笠▲加賀▲能登▲呂

龍田▲千歳▲榛名▲磐手▲八重山▲

【佐世保】

龍田▲千歳▲榛名▲磐手▲八重山▲

海軍公報(部内限)第三千二百五號 昭和十四年五月十二日

五二三

▷川内

梨、竹、榎、桃、柳、檜、薑、蓼、蓬、菱、
 ▷葦▲、柿▲、楡▲、▷水無月、文月、長月、
 ▷大潮▲、滿潮▲、朝潮、荒潮、▷彌生、夕月、
 ▷三日月、菊月、陸月、望月、▷綾波▲、浦波、
 ▷若葉、子日、初霜、初春、▷江風、涼風、
 山風、海風、▷追風、疾風、峯風、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲、
 呂六一▲、▷呂六三、呂六八、▷呂六六、
 呂六五、呂六七、伊六九▲、▷伊六五、
 ▷伊五、伊四、伊七
 ▷真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁▲
 ▷掃一〇、掃八、掃九
 敷島▲、鶴見、佐多
 (白石)、(雪風)▲、(伊一八)▲
 羽黒▲
 (筑摩)▲

〔長崎〕

〔鎮海〕

呂六四
 【作業地】▷出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
 保津、熱海、二見、▷瑞穂、球磨、▷妙高、
 名取、▷長良、▷嵯峨、勝力、夕張、
 栗、梅、蓮、▷夕風、朝風、▷松風、朝風、
 ▷白露、有明、夕暮、時雨、
 伊六三、
 ▷隼、鴨、鶴、鳩、雉、鷺、
 ▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

〔航海中〕

襟裳 (六日「ホノルル」發—吳へ)
 ▷長門、▷鳥海、摩耶、▷那珂、▷劍崎、▷赤城、
 ▷蒼龍、▷村雨、夕立、春雨、五月雨、▷隴、略、潮、
 ▷天霧、朝霧、夕霧、(十一日宿毛發—横須賀へ)
 扶桑、鬼怒、▷大鯨、龍驤、▷初雪、白雪、吹雪、
 ▷東雲、叢雲、薄雲、▷伊五五、伊五三、伊五四、
 ▷伊七五、伊七四、▷伊七三、伊七一、伊七二、
 伊八、隱戸、間宮 (十一日宿毛發—吳へ)
 ▷霧島、金剛、▷阿武隈、由良、▷伊五九、伊六〇、
 ▷呂三四、呂三三 (十一日宿毛發—佐世保へ)
 石廊 (十一日徳山發—佐世保へ)
 足柄 (十二日小濱發—佐世保へ)

▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、
 ▷掃一七、掃一八、掃七
 朝日、大泊、知床、野鳥

海軍公報

(部内限) 第三千二百六號

海軍大臣官房

昭和十四年五月十三日(土)

○令 達

官房機密第二八二二號

機 要

國產工作機械調達並ニ精度調査要領左ノ通定メ當分ノ間之ヲ試行ス

昭和十四年五月十日

海 軍 大 臣

國產工作機械調達並ニ精度調査要領

一、目的

工作機械製造業ノ専門化ヲ助長シ併セテ製品ノ品質向上ヲ圖ルヲ目的トス

二、調達

- (一) 海軍省軍務局長ハ海軍艦政本部長、海軍航空本部長及關係部局長ト協議ノ上工作機械製造業者ノ製品ニ付共ノ實績ニ依ル級別ヲ定メ毎年三月末日迄ニ之ヲ關係各廳ニ通知ス變更ノ場合亦同ジ
- (二) 工作機械ノ級別ハ左記ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一級

納入時日本機械學會規格第一種以上ノ精度ニシテ使用時數(工員ノ實働時間ヨリ材料ノ受入等ノ爲當該機械ヲ休止セル概略時數ヲ控除シタル正味切削時數ニ近キ時數ヲ謂フ以下之ニ同ジ)二、五〇〇時以上ヲ經テ納入時ノ精度ニ近キ精度ヲ保持シ故障缺損ヲ生ゼザリシモノ

二級

納入時日本機械學會規格第一種ノ精度ニシテ使用時數二、五〇〇時以上ヲ經テ第二種ノ精度ニ低下セルモノ及納入時ヨリ第二種ノ精度ヲ保持シ大ナル故障缺損ヲ生ゼザリシモノ

三級

二級ニ達セザルモ荒削用等ニ使用シ得ルモノ

(三) 各廳ニ於テ工作機械ヲ調達スルトキハ特別ノ場合ヲ除ク外前記(一)號通知ノ一級品ニ依ルモノトス

三、精度調査

(一) 工作機械ノ納入ニ際シテハ製造業者ノ作成セル

海軍公報(部内限) 第三千二百六號 昭和十四年五月十三日

五二五

精度検査成績表ヲ添附セシムルモノトス

前項ノ検査ハ當分ノ間日本機械學會制定ノ規格ニ依リ之ニ依リ難キモノハ「シユレージンダ」氏検査法ニ依リ實施セシムルモノトス

(二) 各廳ハ工作機械ノ納入又ハ据附ニ際シ前號ノ検査成績ノ確認ヲ爲スモノトス但シ製造業者ノ精度検査ニ際シ海軍ニテ立會検査ヲ爲セルモノ又ハ部外官公立検査機關ニヨリ検査セルモノニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得

(三) 工作廳ハ新ニ据附ケタル工作機械中必要ナルモノニ付使用開始後使用時數二、五〇〇時間又ハ据附後一年以上ヲ經タルトキ精度検査ヲ行ヒ納入時又ハ据附時ノ精度ト比較シ其ノ成績竝ニ所見ヲ別紙様式ニ依リ毎年末海軍艦政本部又ハ海軍航空本部ニ通知スルモノトス

四、雜件

(一) 本要領ニ依ル調達ノ回滑ヲ期スル爲工作機械製造事業法其ノ他ノ關係法規トノ連絡及運用ニ付留意スルモノトス

(二) 民間受註工場ニ於テ工作機械ヲ購買スル場合ニモ成ルベク本要領中必要ナル事項ノ準用ニ付指導

スルモノトス

(別紙一葉添)

○ 通牒

官房第二四五八號ノ二

昭和十四年五月十日

海軍省副官

關係各部御中

支那事變記念寫真帳資料ノ件照會

今次事變記念寫真帳製作製資料ト致度ニ付左記ニ依リ御送付ヲ得度

記

一、期 間

自昭和十二年七月七日(ニ於ケル分)至同 十四年七月六日

二、寫真ノ大サハ隨意

但シ簡單ナル説明附記ノコト

三、機密ニ互ラザルモノ

但シ原畫ハ返却セズ

四、送付先

海軍省經理局恤兵係宛

五、到着期日
七月末日迄

經物機密第二八號

昭和十四年五月十二日

海軍省軍務局長
海軍省經理局長

各鎮守府〔參謀長〕
各要港部〔參謀長〕
關係各廳長 殿

現有通常物品等ノ第一次特別回收實施
ニ關スル件申進

軍務二物第六五號(昭和十四年三月四日海軍公報參照)
申進ニ基キ調査セル通常物品等ハ左記ニ依リ回收處分
相成度

記

一、特別回收品目

銃、鋼ヲ以テ製作セル通常物品中備品及器具類ニシ

テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(一) 代替費用ヲ要セズシテ回收シ得ルモノ全部

(二) 代替費用ヲ要スルモノニ在リテモ灰皿、火鉢、
痰壺、屑箱等其ノ他容易ニ回收可能ノモノ成ルベ

ク多量但シ所要經費ハ既配付豫算内支辨トス
二、回收品ノ處分

(一) 回收物件ハ不用品ニ整理編入シ總テ最寄海軍工
廠ニ保管轉換スルモノトス(昭和十二年官房第七
五號ニ準ズ)

右ニ依リ集積セラレタルモノハ當該工廠會計部利
材工場ニ於テ處理スルモノトス

(二) 作業會計廳ニ在リテハ日本鐵屑統制株式會社ニ
拂下グルモノトス

(三) 海軍關係法人及組合等ニ在リテモ成ルベク本趣
旨ニ從ヒ前號ニ準ズルモノトス

(四) 回收處分ハ概ネ五月中ニ完了スルモノトス

三、報告書
別紙様式ノ報告書ヲ調製シ各鎮守府及要港部毎ニ取
纏メ六月二十日迄ニ提出スルモノトス

(別紙一葉添)

經豫機密第三號ノ一二

昭和十四年五月十三日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

海軍公報(部内限)第三千二百六號

昭和十四年五月十三日

五二七

軍用手票ノ取扱ニ關スル件通牒

事變地外ニ於テ軍用手票ヲ日本通貨ト引換ヲ爲ス日本銀行代理店ニ關シテハ昭和十三年十月十五日經豫機密第三號ノ一一支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續第十一條第一項及第十三條第一項ニ依ルコトト相成居候處今般右ノ外日本銀行福岡代理店ヲ追加指定セラレ又日本通貨ト軍用手票ノ引換ヲ爲ス日本銀行代理店ニ關シテハ上記取扱手續ノ實行方ニ關スル件第四第一項ニ依ルコトト相成居候處更ニ日本銀行大阪、廣島兩支店及長崎、福岡兩代理店ニ於テモ右ノ取扱ヲ爲シ得ルコトト相成候條了知相成度

○辭令

海軍少佐 馬場 金治
報道部第三課勤務ヲ免シ同第二課勤務ヲ命ス
同 高瀬 五郎
報道部第三課勤務ヲ命ス(以上^十大木管海軍部)

○雜款

○司令驅逐艦復歸

第三十驅逐隊司令ハ五月八日司令驅逐艦ヲ如月ヨリ彌生ヘ復歸セリ

○特務艦石廊行動豫定

地名	着	發
吳		五月十日
德山	五月十日	五月十日
佐保	五月十二日	五月十四日
佐業地	五月十八日	五月十四日
佐世保	五月二十五日	五月十五日
吳	六月七日	六月五日

○郵便物發送先

特務艦石廊宛
五月九日迄ニ到達見込ノモノハ
六月四日迄ニ同
其ノ後ハ
吳 佐世保
吳

○正誤
歐文電報宛名略語表(五月四日海軍公報(部内限)附錄)五頁末尾中「Buenosaires」ハ「Buenosaires」ノ誤

0628

納入者名					
要 目	呼称 寸法				
	能 力				
	原動機				
購買番號		製造者ノ 型式記號			
納入期日	年 月 日	使用開始 期 日	年 月 日	使用開始後 ノ使用時數	時
使用期間中ノ故障其ノ他 参考トナルベキ事項					
改造ヲ要スル事項					
所 見					

JES B-5

0629

別紙様式

第一次特別回収報告書

應名

回収品名	材質	個数	重量	回収処分方法	代替品ニ要セシ経費等		
					材質	個数	経費
			適	(例)横須賀海軍工廠=保管轉換、			同
				指定商人=拂下ゲ			
合計							

(昭和十四年五月十三日公報(部内限))

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷、五十鈴、陸奥、

嚴島、多摩、▽八雲、駒橋▲木曾、▽沖島、

山城、長鯨、愛宕、利根▲▽長門、▽赤城、

▽鳥海、摩耶、▽那珂、▽劍埼、▽蒼龍

島風▲灘風▲▽夏雲、峯雲、朝雲▲

山雲▲▽曉▲▽村雨、夕立、春雨、五月雨、

▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧

伊六▲、呂五八、伊一二四

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸、尻矢

(飛龍)、(高崎)▲

【長浦】 汐風、帆風、▽沼風、▽電、雷、響、狭霧、

漣 呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

伊一二三、▽伊五、伊四、伊七

【石川島】 野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】 北上▲

沖風 (霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 葵▲、▽秋風、羽風、太刀風、夕風

【函館】 吳竹▲、▽菊▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、

日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田、

▽熊野、三隈、▽白鷹、扶桑、鬼怒、▽大鯨、

龍驤 夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▽芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、▽初雪、白雪、吹雪、

▽東雲、叢雲、薄雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、

伊六七▲、▽伊七〇▲、▽伊一二一、

伊一二二▲、▽伊六二、伊六一、伊六四、

伊六一、伊二、伊三、▽伊五五、伊五三、

伊五四、▽伊七五、伊七四、▽伊七三、

伊七一、伊七二、伊八

雁 室戸、攝津、隠戸、間宮

(伊一五)▲(伊一六)▲

【大阪】 天龍▲

卯月▲、如月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】 伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

【相生】 神風▲、波風▲

早鞆▲ (初鷹)▲

海軍公報(部内限)第三千二百六號

昭和十四年五月十三日

五二九

【玉】 呂六二▲

因ノ島 戸春風▲ 旗風▲ 阜月▲

江田内 平戸▲

舞鶴 吾妻▲ 迅鯨▲

敷波▲ 磯波▲ 白雲

伊五二▲

(陽炎)▲ (親潮)▲

【佐世保】 那智▲ 常磐▲ 青葉▲ 衣笠▲ 加賀▲ 能登▲ 呂龍田▲ 千歳▲ 榛名▲ 磐手▲ 八重山▲

霧島▲ 金剛▲ 阿武隈▲ 由良▲ 川内▲

梨▲ 竹▲ 樞▲ 桃▲ 柳▲ 檜▲ 萱▲ 蓼▲ 蓬▲ 菱▲

草▲ 柿▲ 楡▲ 水無月▲ 文月▲ 長月▲

大潮▲ 満潮▲ 朝潮▲ 荒潮▲ 彌生▲ 夕月▲

三日月▲ 菊月▲ 睦月▲ 望月▲ 綾波▲ 浦波▲

若葉▲ 子日▲ 初霜▲ 初春▲ 江風▲ 涼風▲

山風▲ 海風▲ 追風▲ 疾風▲ 峯風▲

呂三〇▲ 呂三一▲ 呂三二▲ 呂六〇▲

呂六一▲ 呂六三▲ 呂六八▲ 呂六六▲

呂六五▲ 呂六七▲ 伊六九▲ 伊六五▲

伊五九▲ 伊六〇▲ 呂三四▲ 呂三三▲

眞鶴▲ 千鳥▲ 友鶴▲ 初雁▲

掃一〇▲ 掃八▲ 掃九▲

敷島▲ 鶴見▲ 佐多▲ 石廊

(明石)▲ (雪風)▲ (伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

【鎮海】 呂六四▲

【作業地】 戸出雲▲ 安宅▲ 鳥羽▲ 勢多▲ 壱田▲ 比良▲

保津▲ 熱海▲ 二見▲ 瑞穂▲ 球磨▲ 妙高▲

名取▲ 長良▲ 嵯峨▲ 勝力▲ 夕張▲

栗▲ 梅▲ 蓮▲ 夕風▲ 朝風▲ 松風▲ 朝風▲

白露▲ 有明▲ 夕暮▲ 時雨

伊六三▲

隼▲ 鴨▲ 鶴▲ 鴻▲ 鳩▲ 雉▲ 鷺

掃五▲ 掃一▲ 掃二▲ 掃三▲ 掃四▲ 掃六▲

掃一六▲ 掃一三▲ 掃一四▲ 掃一五▲

掃一七▲ 掃一八▲ 掃七

朝日▲ 大泊▲ 知床▲ 野島

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳)

足柄 (十二日小濱發一佐世保)

霞 (十二日江田内發一廣島灣)

矢風 (十二日吳發一大阪)

大井 (十三日舞鶴發一迎日灣)

海軍公報

(部内限) 第三千二百七號

昭和十四年五月十五日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二五三六號
 海軍工員規則第九十八條ノ規定ニ依リ本年六月一日現在ノ工員(見習工員ヲ除ク)ニ對シ定期賞與ヲ支給スヘシ其ノ給額標準ヲ左ノ通定ム
 海軍燃料廠探炭部及鑛業部ノ鑛員ニ對シテハ本令ヲ準用スルコトヲ得
 昭和十四年五月十五日

勤續一年以上ノ者	海 軍 大 臣	賃 錢	二十七分
同 十箇月 同			二十二日分
同 八箇月 同			十七日分
同 六箇月 同			十二日分
同 四箇月 同			七日分
同 二箇月 同			五分分
同 一箇月 同			三分分

○通 牒

官房第一六四二號ノ二
 官房第一六四二號中左ノ通改ム
 昭和十四年五月十五日

海 軍 省 副 官

- 一、八幡海軍監督官事務所ノ項ニ「海軍省 銀座 自三一九番」、「佐世保海軍建築部 佐世保 四三五〇番」、「吳海軍建築部 吳 二七三三番」及「吳鎮守府 吳 五一〇一番」ヲ追加シ廣海軍工廠ノ「吳 四三二一番」ヲ「吳 四三二八番」ニ改ム
- 二、廣海軍工廠ノ項東京海軍監督官事務所ノ「銀座 一〇二八番」ヲ「九段 自一五一三番」ニ改ム
- 三、福岡海軍監督官事務所ノ「福岡東 三九四〇番」ヲ「福岡東 二二三一番」ニ改ム
- 四、廣海軍工廠ノ「吳 四三二六番」ヲ全部削除ス

官房第一六四二號ハ事變關係公用市外通話優先取扱ニ關スル件ナリ(三月三十一日號外参照)

○ 辭 令

水路部ニ於ケル編纂事務囑託ヲ解キ海軍省事務ヲ囑託ス
海軍大尉 平尾 誠一

海軍省事務ヲ囑託ス(以上^{五三〇}海軍省)

海軍中佐 若槻 龍三

第四課勤務ヲ命ス(以上^{五三〇}海軍省軍務局)

海軍整備特務中尉 佐野 敏雄

教育部附ヲ命ス(以上^{五三〇}海軍航空本部)

○ 雜 款

○特務艦尻矢行動豫定

地名 着

横 須 賀 六月十二日

羅 府 六月十七日

ホノルル 二十八日

横 須 賀 七月二十日

發

五月十五日

六月十七日

七月二日

○郵便物發送先
特務艦尻矢宛

五月十九日以降六月三十日迄ニ到達見込ノモノハ
横濱郵便局氣付
其ノ後ハ
横 須 賀

○郵便物發送先變更
特設運送船旭丸宛

自今

佐世保

○事務所設置

博多海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ佐世保海軍
航空隊内ニ設置シ五月五日ヨリ事務ヲ開始セリ

伊號第十六潜水艦艦裝具事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置
シ五月九日ヨリ事務ヲ開始セリ

○訂正

本月五日辭令欄四九三頁上段佐藤政吉ノ辭令日附「五
月五日」ハ「五月二十八日」ト訂正ス



訂正

五月二十八日

訂正ス

○艦船所在

指印ハハホヘ
定ヲ要セズ

○五月十五日前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷、五十鈴、陸奥、
嚴島、多摩、八雲、駒橋▲木曾、沖島、
山城、長鯨、愛宕、利根▲長門、赤城、
鳥海、摩耶、那珂、劍埼、蒼龍、
島風▲灘風▲夏雲、峯雲、朝雲、
山雲▲曉▲村雨、夕立、春雨、五月雨、
隼、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、
伊六▲呂五八、伊二二四、
富士▲膠州、洲崎▲鳴戸、尻矢

【長浦】

沙風、帆風、沼風、電、雷、響、狭霧、
連

【石川島】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
伊一三三、伊五、伊四、伊七、
野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲

【館山】

沖風
(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲
澤風▲

【大湊】

葵▲、秋風、羽風、太刀風、夕風

【函館】

吳竹▲、菊▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田▲、
熊野、三隈、白鷹、扶桑、鬼怒、大鯨、
龍驤、
夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、菫、
芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、初雪▲、白雪▲、
吹雪▲、東雲、叢雲、薄雲、
呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、
伊六七▲、伊七〇▲、伊一一一、
伊一二二▲、伊六二、伊六一、伊六四、
伊一、伊二、伊三、伊五五、伊五三、
伊五四、伊七五、伊七四、伊七三、
伊七一、伊七二、伊八

【紀伊水道】

室戸、攝津、隠戸、間宮
伊一五▲、伊一六▲

【大阪】

矢風
天龍▲
卯月▲、如月▲
(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲、伊五七、伊五六▲、伊五八▲
(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲
神風▲、波風▲
早鞆▲

海軍公報(部内限)第三千二百七號

昭和十四年五月十五日

五三三

【玉】 (初鷹) ▲

呂六二 ▲

【因ノ島】 春風 ▲、旗風 ▲、阜月 ▲

【江田内】 平戸 ▲

【舞鶴】 吾妻 ▲、迅鯨 ▲

敷波 ▲、磯波 ▲、白雲

伊五二 ▲

(陽炎) ▲ (親潮) ▲

【佐世保】 那智 ▲、常磐、青葉 ▲、衣笠 ▲、加賀 ▲、能登呂、

龍田、千歳 ▲、榛名、磐手、八重山 ▲、足柄、

霧島、金剛、阿武隈、由良、川内

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、

葦 ▲、柿 ▲、楡 ▲、水無月、文月、長月、

大潮 ▲、満潮 ▲、朝潮、荒潮、彌生、夕月、

三日月、菊月、陸月、望月、綾波 ▲、浦波、

若葉、子日、初霜、初春、江風、涼風、

山風、海風、追風、疾風、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇 ▲

呂六一 ▲、呂六三、呂六八、呂六六、

呂六五、呂六七、伊六九 ▲、伊六五、

伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

眞鶴 ▲、千鳥、友鶴 ▲、初雁 ▲

掃一〇、掃八、掃九

敷島 ▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風) ▲ (伊一八) ▲

【長崎】 羽黒 ▲

(筑摩) ▲

【鎮海】 呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

名取、長良、嵯峨、勝力、夕張

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨

伊六三、

隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、

掃一七、掃一八、掃七

朝日、大泊、知床、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)

大井 (十五日迎日灣發一萩へ)

(六日「ホノルル」發一吳へ)

(十五日迎日灣發一萩へ)

(限 内 部)

0636

海軍公報

(部内限) 第三千二百八號

海軍大臣官房

昭和十四年五月十六日(火)

○ 辭 令

海軍省事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス

勳八等

大西	洋三郎	平戸	幹次	大内	良雄	森田	勝人	海野	昌男	瀨川	貞雄	黒木	正明	藤原	繁雄	松波	義辰	麓	開作	平野	良三	遠藤	久藏	中尾	正直	岡部	武夫	齋藤	茂
----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

稻見	次郎	三森	正直	望月	保	熊田	竹雄	松尾	博	小堀	益三	石原	翠五郎	村崎	位工	宮脇	茂雄	田澤	隆	宗像	久敬	松尾	輝義	大谷	清作
----	----	----	----	----	---	----	----	----	---	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----

(各通)

海軍省事務ヲ囑託ス(以上諸君海軍省)

海軍省事務囑託ヲ解ク(五同)

(各通)

大阪監理官ヲ命ス

海軍艦政本部附
兼造兵監督官
海軍技師
兼海軍工廠附兼海軍
艦政本部造兵監督官
同

海軍公報(部内限) 第三千二百八號

昭和十四年五月十六日

五三五

海軍航空技術廠發着機部部長 同 千葉宗三郎
兼海軍航空本部造兵監督官

東京監理官ヲ命ス 海軍艦政本部附 廣瀬 義信
兼造兵監督官 同 宮脇 茂

(各通) 横須賀海軍工廠附兼海軍艦政本部造兵監督官 同 宮脇 茂

(東京) 浦賀監理官ヲ命ス(以上十五日前同) 海軍少佐 寺崎 隆治

第一課勤務ヲ命ス(五日前海軍省軍務局)

海軍中佐 三浦 速雄(艦本)

海軍大尉 椿 正憲(十驅潛)

海軍機關中佐 松本 正彦(艦本)

(各通) 海軍造船中佐 飯河 晶(艦本監)

海軍技師 高垣 熊市(同)

同 石橋 福次(同)

同 村井 藏吉(同)

第十號驅潛艇審議委員ヲ命ス(十五日前海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 學生始業式

今期任命セラレベキ本校高等科學生ハ來六月十六日

始業式ニ付其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度 (海軍水雷學校)

○ 練習生採用試験問題發送

第三十七期高等科經理術練習生

第二十五期高等科衣糧理術練習生

第三十七期普通科衣糧理術練習生

右本月十一日左記ニ依リ發送濟

記

一、聯合試験參加不能ト認メラル、向ニハ直接、其ノ

他ハ各海軍人事部長、各要港部副官(大湊ハ大湊

防備隊司令)及上海海軍特別陸戰隊副官宛送付

二、行動其ノ他ノ都合ニ依リ臨時必要ノ分トシテ問題

若干部數前記各官及第三、四、五艦隊副官宛送付

シ置ケリ

未着ノ場合若ハ別ニ必要ノ向ハ最寄ノ前記各官ヨ

リ受領スルカ又ハ本校ニ請求相成度 (海軍經理學校)

○ 艦船所在

▲印ハニハホ
指定ヲ要セズ

○五月十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、
殿島、多摩、八雲、駒橋、木曾、沖島、
山城、愛宕、利根、長門、赤城、鳥海、
摩耶、那珂、劍崎、蒼龍、
島風、灘風、夏雲、峯雲、朝雲、
山雲、曉、村雨、春雨、夕立、
五月雨、朧、曙、潮、天霧、朝霧、
夕霧、澤風

【長浦】

呂五八、伊六▲、伊一二四▲
富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸、尻矢
(飛龍)▲(高崎)▲
漣 汐風、帆風、沼風、電、雷、櫻、狹霧、

【石川島】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
伊一二三、伊五、伊四、伊七
野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲
沖風

【大湊】

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲
葵▲
吳竹▲、巨菊▲

【函館】

吳 ▲
矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田▲、
熊野、三隈、白鷹、扶桑、鬼怒、大鯨、
龍驤
夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
芙蓉、刈萱、朝顔、初雪、白雪▲、
吹雪、東雲、叢雲、薄雲
呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、
伊六七▲、伊七〇▲、伊一二一、
伊一二二▲、伊六二、伊六一、伊六四、
伊一、伊二、伊三、伊五五、伊五三、
伊五四、伊七五、伊七四、伊七三、
伊七一、伊七二、伊八
雁
室戸、攝津、隠戸、間宮
(伊一五)▲(伊一六)▲
矢風
天龍▲
卯月▲、如月▲
(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲
神 戸 伊六八▲、伊五七、伊五六▲、伊五八▲
(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲
相生 神風▲、波風▲
早霜▲

海軍公報(部内限) 第三千二百八號 昭和十四年五月十六日

五三七

【初鷹】▲

【玉】 呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

【陽炎】▲(親潮)▲

【佐世保】 那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂▲、龍田▲、千歲▲、榛名▲、磐手▲、八重山▲、足柄▲

霧島▲、金剛▲、阿武隈▲、由良▲、川内▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、蓬▲、菱▲

大湖▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、彌生▲、夕月▲

三日月▲、菊月▲、睦月▲、望月▲、綾波▲、浦波▲

若葉▲、子日▲、初霜▲、初春▲、江風▲、涼風▲

山風▲、海風▲、追風▲、疾風▲、峯風▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六三▲、呂六八▲、呂六六▲

呂六五▲、呂六七▲、伊六九▲、伊六五▲

伊五九▲、伊六〇▲、呂三四▲、呂三三▲

眞鶴▲、千鳥▲、友鶴▲、初雁▲

掃一〇▲、掃八▲、掃九▲

敷島▲、鶴見▲、佐多▲

(明石)▲、(雪風)▲(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

【鎮海】 呂六四▲

【作業地】 出雲▲、安宅▲、鳥羽▲、勢多▲、堅田▲、比良▲、保津▲、熱海▲、二見▲、瑞穂▲、球磨▲、妙高▲、名取▲、長良▲、嵯峨▲、勝力▲、夕張▲

栗▲、梅▲、蓮▲、夕風▲、朝風▲、松風▲、朝風▲

白露▲、有明▲、夕暮▲、時雨▲、秋風▲、羽風▲

太刀風▲、夕風▲

伊六三▲

隼▲、鴨▲、鶴▲、鴻▲、鳩▲、雉▲、鷺▲

掃五▲、掃一▲、掃二▲、掃三▲、掃四▲、掃六▲

掃一六▲、掃二三▲、掃一四▲、掃一五▲

掃一七▲、掃一八▲、掃七▲

朝日▲、大泊▲、知床▲、野島▲、石廊▲

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發一吳へ)

長鯨 (十五日横須賀發一吳へ)

叢 (十五日吳發一廣島灣へ)

大井 (十六日萩發一吳へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百九號

昭和十四年五月十七日(水)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第二五八七號

自今左記事項ニ依リ艦營需品揮發油ガス檢知器及泡沫發生器ヲ貸與シタル場合ハ其ノ期間中之ニ要スル揮發油ガス指示薬及泡沫消火劑丙ヲ艦營需品定額表定數外トシ告知豫算内ヲ以テ供給スルコトヲ得

昭和十四年五月十七日

海軍大臣

- 一、輕質油輸送任務ノ艦船ニ揮發油ガス檢知器及泡沫發生器ヲ貸與シタル場合ハ各同器一個ニ對シ揮發油ガス指示薬一〇〇個以内、泡沫消火劑丙一五個以内
- 二、練習艦隊各艦候補生教育用トシテ揮發油ガス檢知器ヲ貸與シタル場合ハ右ニ準ズ

○ 辭 令

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍大佐 大熊 讓

二千六百年委員會委員ヲ命ス

海軍中佐 若槻 龍三

陸海軍軍需工業動員協定委員會幹事ヲ命ス

軍需品平時生産協定中央委員會委員(幹事)ヲ命ス
海軍少佐 寺崎 隆治

恩賜研學資金受賞者銜委員會委員ヲ命ス

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

靖國神社祭典掛ヲ命ス

二千六百年委員會委員(記念祝典主務幹事)ヲ命ス

海軍服制研究調查會委員ヲ命ス(以上^{十五}海軍省)

海軍主計中佐 松ノ谷武三郎

第三課勤務ヲ命ス(以上^{十五}海軍省經理局)

海軍省建築局附録 海軍技師 青木 保雄

須賀海軍建築部附 須賀海軍建築部附 須賀海軍建築部附

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(以上^{十五}海軍省建築局)

○ 雜 款

○郵便物發送先
第十二潜水隊司令、伊號第七十潜水艦宛

五月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 二十七日迄ニ 同 佐世保

其ノ後ハ 吳

追テ伊號第六十八、六十九潜水艦宛ハ從前通各艦へ直
送相成度

○事務所變更

第一砲艦隊(給與關係) 殘務整理事務所ヲ左記ノ通變
更セリ
自 今 佐世保郵便局氣付第一港務部内

○正誤

五月六日辭令欄中渡部謙作ノ辭令月日「四月四日」ハ
「五月四日」ノ誤

本日普通公報發行セズ

○艦船所在

指[▲]定[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

○五月十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲、高雄▲、神威▲、鈴谷、五十鈴▲、陸奥、
巖島、多摩、八雲、木曾、沖島、山城、
愛宕、利根、長門、赤城、島海、
摩耶、那珂、劍埼、蒼龍

島風▲、灘風▲、夏雲、峯雲、朝雲▲、
山雲▲、夕立▲、五月雨、隼▲、朝霧▲、
夕霧▲

呂五八、伊六▲、伊二四▲、伊五、伊七
富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸、尻矢
(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】

沙風、帆風、沼風、電、雷、響、狭霧、
漣

【石川島】

野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲
沖風

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一二)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲

【函館】

吳竹▲、菊▲
大泊

【大泊】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田▲、
熊野、三隈、白鷹、扶桑、鬼怒、大鯨、
龍驤

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、初雪▲、白雪▲、
吹雪▲、東雲、叢雲、薄雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、
伊六七▲、伊七〇▲、伊一二一、
伊一二二▲、伊六二、伊六一、伊六四、
伊七一、伊七二、伊八

伊一、伊二、伊三、伊五五、伊五三、
伊五四、伊七五、伊七四、伊七三、
伊七一、伊七二、伊八

雁
室戸、攝津、隠戸、間宮
(伊一五)▲(伊一六)▲

【紀伊水道】

矢風

【大阪】

天龍▲
卯月▲、如月▲
(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲、伊五七、伊五六▲、伊五八▲
(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

海軍公報(部内限) 第三千二百九號 昭和十四年五月十七日

五四一

【相生】 神風▲、波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

【玉】 呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、皐月▲

【江田内】 平戸▲

蔽

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】

那智▲、常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、龍田、千歲▲、榛名、磐手、八重山▲、足柄、霧島、金剛、阿武隈、由良、川内

梨、竹、樅、桃、柳、檜、蕁、蓬、菱、葎▲、柿▲、楡▲、水無月、文月、長月、大潮▲、満潮▲、朝潮、荒潮、彌生、夕月、三日月、菊月、睦月、望月、綾波▲、浦波、若葉、子日、初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六三、呂六八、呂六六、呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

伊真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁▲

呂掃一〇、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)▲、(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

(筑摩)▲

【鎮海】 呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風

伊六三、

伊集、鴨、鶴、鳩、鳩、雄、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七

朝日、知床、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六月)「ホノルル」發(吳へ)

長鯨 (十五日)横須賀發(吳へ)

大井 (十六日)萩發(吳へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百十號

海軍大臣官房

昭和十四年五月十八日(木)

○通牒

經豫第三號ノ六三

昭和十四年五月十七日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本銀行代理店派出所設置ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通牒有之候條了知相成度

(別紙)

藏理第三一〇三號

昭和十四年五月十二日

大藏省理財局長 相田 岩 夫

海軍省經理局長 武井大助殿

今般日本銀行總裁ヨリ中華民國安徽省安慶及蚌埠ニ同行上海代理店ノ派出所ヲ設置シ本月二十日ヨリ國庫金ノ出納及政府有價證券ノ受拂ニ關スル事務ノミニ限リ

取扱ヲ可致旨届出有之候ニ付此段及通牒候也

○辭令

第二課勤務ヲ命ス(十五)海軍省軍需局

海軍機關少佐 河野 不二

○雜款

○軍艦長鯨行動豫定

地名 着

地	名	着
橫須賀	五月十七日	五月十五日
吳江津	五月二十三日	五月二十一日
直津	五月二十五日	五月二十五日
新田	五月二十八日	五月二十八日
酒田	五月三十日	五月三十日
能代	六月二日	六月一日
室蘭	六月五日	六月四日
釧路	六月九日	六月八日
女川		六月十二日

海軍公報(部内限) 第三千二百十號 昭和十四年五月十八日

五四三

小名濱	十二日	十三日
横須賀	十四日	二十四日
芝浦	二十四日	二十九日
横須賀	二十九日	

○郵便物發送先

軍艦長鯨宛

五月二十日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
同 二十四日迄ニ	新瀨
六月三日迄ニ	室蘭
同 十二日迄ニ	小濱
其ノ後ハ	横須賀

○訂正

本月五日辭令欄四九三頁上段佐藤政吉ノ辭令日附「五月五日」ハ「五月二十八日」ト、同十六日雜款欄學生始業式中「六月七日(水)」ヲ「六月六日(火)」ニ訂正ス

一月五日

○艦船所在

▲印ハハホホ
指定ヲ要セズ

○五月十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、高雄▲、神威▲、鈴谷▲、五十鈴▲、陸奥、
嚴島、多摩、▽八雲、木曾、▽沖島、山城、
愛宕、利根、▽長門、▽赤城、▽鳥海、
摩耶、▽那珂、▽劍埼、▽蒼龍▲

島風▲、灘風▲、▽夏雲、峯雲、朝雲▲、
山雲▲、▽曉▲、▽村雨▲、春雨▲、夕立、
五月雨、▽朧、潮、▽天霧▲、朝霧▲、
夕霧▲

伊六▲、伊一二四▲、▽伊五▲、伊七

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸、尻矢

(飛龍)、(高崎)

【長浦】

沙風、帆風、沖風、▽沼風、▽電、雷、響、
狭霧、漣

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、
呂五八、伊一二三、伊四

【石川島】

野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲
曙▲

(霞)▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(掃一二)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲

【函館】

【大泊】

【吳】

吳竹▲、▽菊▲

大泊

矢矧、淺間、淀、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔、加古、最上、伊勢、千代田▲、
▽熊野、三隈、▽白鷹、扶桑▲、鬼怒、▽大鯨▲、
龍驤、長鯨、大井

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲、
▽東雲、叢雲、薄雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、呂五九、伊五一、伊六六▲、
伊六七▲、▽伊七〇、▽伊一二一、
伊一二二、▽伊六二、伊六二、伊六四、
伊六一、伊二、伊三、▽伊五五、伊五三▲、
伊五四▲、▽伊七五、伊七四、▽伊七三▲、
伊七一、伊七二▲、伊八▲、

雁

攝津、隱戸、間宮

(伊一五)▲、(伊一六)▲

矢風

天龍▲

卯月▲、如月▲

(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】▽伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、伊五八▲
(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【和伊水道】

【大阪】

海軍公報(部内限)第三千二百十號

昭和十四年五月十八日

五四五

【相生】 神風▲、波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

【玉】 呂六二▲

【因ノ島】 春風▲、旗風▲、阜月▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

伊五二▲

(陽炎)▲(親潮)▲

【佐世保】

那智▲、常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、龍田、千歲、榛名、磐手、八重山▲、足柄、霧島、金剛、阿武隈▲、由良、川内

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、葦▲、柿▲、楡▲、水無月、文月、長月、大潮▲、満潮▲、朝潮、荒潮、彌生、夕月、三日月、菊月、睦月、望月、若葉、子日、初霜、初春、江風、涼風、山風、海風、追風、疾風▲、峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六八、呂六三、呂六六、呂六五、呂六七、伊六九▲、伊六五、伊五九、伊六〇、呂三四、呂三三

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一〇、掃八、掃九

敷島▲、鶴見、佐多

(明石)、(雪風)▲(伊一八)▲

【長崎】 羽黒▲

(筑摩)▲

【鎮海】 呂六四

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、名取、長良、嵯峨、勝力、夕張、駒橋、栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風

伊六三、

隼、鵜、鶴、鴻、鳩、雉、鷺

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七

朝日、知床、野島、石廊

【航海中】

襟裳 (六日「ホノルル」發—吳へ)

浦波 (十七日佐世保發—鎮海へ)

掖 (十七日江田内發—廣島灣へ)

室戸 (十七日吳發—佐世保へ)